

クラブ管理運営委員会 活動計画

常任委員長 徳久 京子

《方針》

- ①クラブの歴史を辿りながら、次世代への引継を意識した例会運営を行う。
- ②会場監督と緊密に連携をとり品格と温かみのある例会運営を行う。

《計画》

クラブ管理運営委員会マニュアルを作成してクラブの例会の伝統を承継する。

1. 例会親睦委員会

委員長 江田 昌弘 副委員長 苗村 俊

委員 芥川 良 伊藤 悠貴 大野 治雄 壁谷 玲 桑田 俊夫 佐伯 外次 佐藤 雅英
杉山 裕之 須坂 知恵 西生 篤

《方針》

- ①魅力ある楽しい例会と親睦の企画を実施することで、出席率向上と新入会員の維持・増加を図り、クラブの発展に寄与する。
- ②新入会員と既存会員が交流できる例会運営を目指す。
- ③会員だけでなくご家族や当クラブに関わる人が参加できるクリスマス例会・移動例会を実施する。

《計画》

- ①例会前のお出迎えを心がける。
- ②例会内で会員同士が交流できる機会を設ける。
- ③昨年度に引き続き抽選による配席を実施する。
- ④会場監督の作成する例会次第を委員が共有して例会運営に協力する。
- ⑤お客様や新入会員に配慮した配席を心がける。

2. プログラム委員会

委員長 青木 亜也 副委員長 奥橋 園子

《方針》

会員間の相互理解によるクラブの活性化、奉仕活動とりわけ会長方針である職業奉仕に対する意識向上、ロータリークラブへの理解を深めるプログラムを企画する。

《計画》

- ①会員卓話と外部卓話は同数程度実施する。
- ②会員卓話のテーマは「私の職業奉仕」とする。

3. 友好クラブ委員会

委員長 中村 好孝 副委員長 伊藤 悠貴

《方針》

会長方針に基づき、友好クラブとの交流事業を実施する。

《計画》

55周年記念事業において、金沢北ロータリークラブと鹿屋西ロータリークラブとの交流を図る。

クラブ広報委員会 活動計画

常任委員長 粟田 直輝

《方針》

- ①会長方針に基づき、デジタル化を含む情報の保存及び共有のあるべき仕組みづくりを継続する。
- ②他の委員会とも連携した対外的なクラブ活動の周知により、ロータリーの価値と業績を広め、同時に会員の意欲向上や新規会員の入会を促進する。

1. 会報委員会

委員長 芥川 良 副委員長 岩本 勉

委員 市川 孝幸 伊藤 清明 三枝 富博 佐藤 雅英 杉崎 信一 関 裕次
中村 辰雄 中村 文子 西生 篤

《方針》

- ①週報とホームページを通じて、ロータリークラブの情報を伝えていく。
- ②週報とホームページを通じて、クラブの例会の様子や活動計画を紹介していく。
- ③できる限り映像によって伝えることで会員や候補者にクラブの楽しさ、醍醐味を伝えていく

《計画》

- ①週報とホームページを定期的に更新し、常に最新の情報を発信する。
- ②SNS を利用したクラブ広報に努める。

2. 公共イメージ委員会

委員長 足立 旬一 副委員長 伊藤 清明

委員 大谷 新一郎 中山 正太郎

《方針》

- ①ロータリークラブの公共イメージと認知度の向上に努める。
- ②相模原南ロータリークラブの活動を内外に発信する。

《計画》

- ①ロータリークラブの活動内容をSNSなどを活用して定期的に情報発信することで、活用内容の理解を深め、認知度向上を図る。
- ②55年周年記念事業や奉仕活動の取り組みについて、SNSやタウン誌、地域メディアを通じて広く情報発信をし、ロータリーの価値向上に努める。
- ③ホームページの定期更新を行い、対外的な情報発信に加え、会員間の情報共有強化ツールとして活用する。

会員組織委員会 活動計画

常任委員長 藤原 新一

《方針》

55周年を迎えるクラブの伝統を見直し、受け継ぎながらより活気ある多様性に満ちたクラブとするための見直しを必要に応じ実施する。

1. 会員増強委員会

委員長 小野田 勝宏 副委員長 杉崎 信一 大谷 新一郎

委員 大西 孝幸 壁谷 玲 苗村 俊 中山 正太郎

《方針》

- ①会長方針に基づき、次の60周年に向けた会員増強・維持を目指す。
- ②前年度の勢いのまま職業分類未充填部門の入会候補者を発掘し、会員の多様性を広げる。

《計画》

- ①純増で2名以上の会員増強を目指す。
- ②昨年度新会員のフォローアップを致しながら情報共有をし新会員の発掘を行う。
- ③既存会員全員で退会者ゼロを目指す。
- ④衛星クラブの創立を検討する。

2. 会員選考・職業分類委員会

委員長 森泉 朋子 副委員長 中山 智晃

《方針》

会員増強委員会と連携して、会員増強委員会から推薦された候補者を速やかに選考する。

《計画》

伝統を引き継ぎながらも、急速に変化する時代に合わせた体制づくりが進むよう、より多種多様な人材・職業を選考し、将来に繋がるクラブ活性化および会員間の連携を深めるようすすめる。

3. ロータリー情報委員会

委員長 栗林 一郎 副委員長 大谷 新一郎

委員 黒河内 三郎 中村 好孝

《方針》

- ①会長方針に基づき、会員増強に努めると共に、会員維持にも注力する。
- ②新会員を含む全ての会員に最新の情報を提供すると共に、フォローアップを行っていく。

《計画》

- ①入会3年未満の会員を対象としたロータリー情報委員会を開催する。
- ②メイクアップツアーを企画し、地区、他クラブとの交流並びに情報の共有を積極的に進めると共に、メイクアップすることで出席率の向上を図る。

基金プログラム委員会 活動計画

常任委員長 山田 修

《方針》

- ①ロータリー財団及びロータリー米山記念奨学会への会員の理解を深める。
- ②ロータリー財団及びロータリー米山記念奨学会に対して寄付だけでなく、地区の活動に参加する。
- ③会員がエンドポリオの取組みについて学ぶとともに、地域にポリオ根絶活動の理解を広める。

1. ロータリー財団委員会

委員長 小川 仁司 副委員長 桑田 俊夫

委員 宮崎 雄一郎

《方針》

- ①ロータリー財団年次基金への会員一人当たりの目標寄付金額（200ドル以上）を達成する。
- ②社会・国際奉仕委員会と協力してポリオプラス基金への募金活動を行うとともに一人当たり40ドル以上の寄付を達成する。
- ③恒久基金1000ドルを1名以上達成する。

《計画》

- ①財団月間（11月）に財団学友や会員の卓話を実施し、ロータリー財団への理解を深める。
- ②相模大野ハロウィンフェスティバル及びさがみはら能等におけるポリオ募金を実施する。

2. 米山奨学委員会

委員長 澁谷 直樹 副委員長 一ノ瀬 裕

《方針》

- ①会員一人当たりの目標額（20,000 円以上）を達成する。
- ②地区の米山奨学委員会主催のイベントに参加し米山奨学生との交流を図る。

《計画》

米山月間（10月）に米山奨学生または米山学友の卓話を実施し、米山記念奨学会への理解を深める。

奉仕プロジェクト委員会 活動計画

常任委員長 中田 克己

《方針》

55周年事業として実施する新たな奉仕活動と前年度までの奉仕活動の充実を図り、会員の相互理解を深めロータリー活動の意義を改めて認識する機会を得る。

1. 社会・国際奉仕委員会

委員長 若林 美佳 副委員長 大西 孝幸

委員 須坂 知恵 鈴木 晴澄 松山 隆雄 森泉 朋子

《方針》

今まで実践した奉仕活動を継続し地域社会に貢献すると共に、55周年記念事業として新たな奉仕活動を立ち上げ、会員のロータリー活動の充実を図る。

《計画》

①相模原能に留学生や地域の方を招待し、日本文化を伝える。

②55周年記念事業での奉仕活動の実践

③SSP（サイドスタンドプロジェクト）への協力

2. 職業奉仕委員会

委員長 中山 正太郎 副委員長 中村 文子

《方針》

ロータリーの根幹である職業奉仕について、会員それぞれが、職業奉仕と職業倫理の在り方に対する理解を深める機会とする。

《計画》

昨年に引き続き、相模女子大学高等部で、仕事をテーマとした出前授業を行うと共に、職業奉仕について、卓話や炉辺会合で考える機会を作る協力をする。

3. 青少年奉仕委員会

委員長 三枝 富博 副委員長 溝渕 真澄

委員 小方 實 渋谷 勝 鈴木 昌彦 中山 智晃

《方針》

奉仕活動を通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように持続的な支援をする。そのために、当委員会のノウハウの継承と企画立案、伝承の仕組み作りに注力する。

《計画》

①NPO 法人てらこや食堂ラッキーズを利用する子どもたちへの魚捌き体験と食事会の実施

②幼児、児童サッカー教室の企画・実施

③インターアクトクラブに関する調査研究

④委員会活動のノウハウ継承と企画立案、伝承の仕組み作りのためのヒアリング